

図1 平成29年度刊行発掘調査報告書表紙

1. 発掘調査報告書とは

本号は、大崎町教育委員会において、平成29年度に刊行した発掘調査報告書をご紹介します。

『発掘調査報告書』とは、遺跡の発掘調査で得られた成果を後世に残すために調査の記録をまとめた本です。発掘調査といっても大きく2つに分類され、公共工事によって遺跡の保存が困難な場合に実施されるものと、遺跡の性格を把握するため事前に調査を行うものに分けられます。発掘調査によって得られた情報は、記録保存のために得られたものなので、発掘調査の記録を公開する目的も含まれます。そのため、発掘調査実施後は、調査記録(図面・写真・出土遺物)の整理を行います。整理されたものは調査を実施した調査機関において管理しています。

発掘調査報告書は、これらの整理された調査記録をもとに、調査の経過・体制・方法や遺跡の立地・環境、調査の成果を本にまとめ刊行します。刊行した報告書は、さまざまな場所で閲覧できるように、国の機関や県内の市町村教育委員会、博物館などに送付します。

また現在では、インターネットでも公開されるようになり、全国の発掘調査報告書が安易に閲覧できるようになっています。

2. 平成29年度に刊行した発掘調査報告書

大崎町教育委員会では、平成29年度3月に、県営事業『大園・浜牧・蓼池遺跡、飯隈遺跡群』と国庫事業『飯隈遺跡群』2冊の発掘調査報告書を刊行しました。

この2冊は、平成22～27年度に実施した発掘調査成果をもとに作成した報告書です。大園・浜牧・蓼池遺跡では、古墳時代の集落跡が発見され、飯隈遺跡群では、飯隈鷲塚地区にある古墳の周囲に多数の地下式横穴墓が存在することが分かりました。

本町では、今回作成した報告書を含めて、計11冊の報告書を刊行しています。刊行した報告書は、町立図書館や町中央公民館に置いてありますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

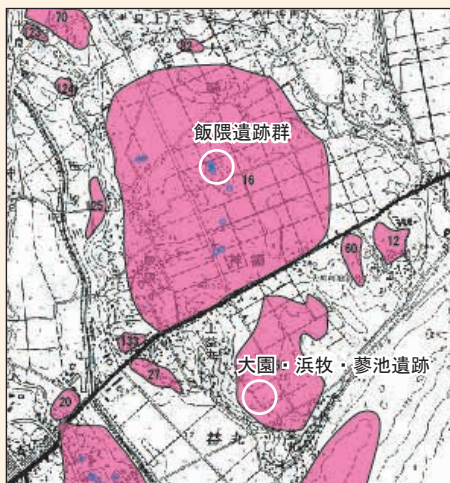


図2 遺跡の調査位置図